

道徳科において、他者の考えを基に再考し自分の考えを深める児童の育成 —変容が分かるノートの活用と考えを伝え合う交流活動を通して—

特別研修員 道徳 赤澤 和哉 (小学校教諭)

児童の実態

- ・様々な考えを受け入れられないことがある
- ・自己の生き方に学びを十分に生かしていない

教師の願い

- ・他者の考えと比較しながら、自分の考えを深めてほしい
- ・考えの変容に気づき、自己の生き方に生かしてほしい

導入

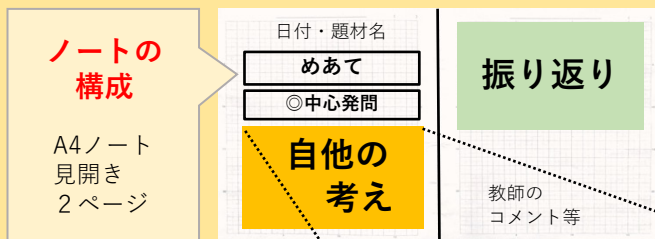
実践例 主題名 互いに高め合いながら B-(10)友情、信頼
題材名 「ドッジボール対決」 (出典：光村図書)

めあて：お互いに高め合う友情とは
どのようなものか考えよう

再考して自分の考えを深める

手立て1

自他の考えを整理することで自分の考えの変容が分かるノートの活用

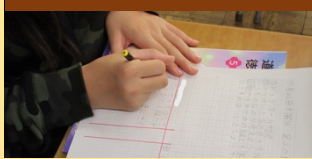


交流して多様な考えに触れる

手立て2

考えを伝え合うための
ICT端末を用いた交流活動

①自分の考えを書く



①から②へ

②ノートを撮影・送信



③グルーピング



④見る・読む



考えを詳しく教えて！

⑤意見交流

この考えをノートに書こう！

⑥他者の考えを書き
自分の考えと比較・
関連付ける

展開

ええと
…と思う

私は〇〇と
考えたよ

深化

友達の考えを
参考に
もう一度
考えよう

深化

考えが
変わった！

①自分の考え

・ドッジボール
対決で例えるなら、
他の組とは話さな
いなどの変？な
作戦は立てない。
立てたら団結とは
いいづらい。(いえない)

⑦深まった考え

・前向きな気持ち
になるためには、
仲かとてもいい人
と話して、なんで
もいから何かを
やろうという提案
をして、(おいて) 実行
する。

④・⑤

・負けることも
大切

・1組と2組で
団結する。

・「1組と話せ
ないなんていや
だよ！も、とい
い方法があるよ」
とは、きり言う。

・学年全員でコ
ミュニケーショ
ンをたくさんと
る。

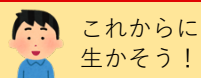
・チームワーク
勝ち負けなし
いつも通り
友達の輪を広げる。

⑥他者の考え

⑦再考して書く

⑥から⑦へ

⑧振り返り



「学習したことは」「今まで」「これから」をキーワードに書く

学習したことは、お互いに納得して行動することが大切だということ。
今まで自分を優先していたけれど、これからは相手のことも考え行動していきたい。

成果 ○自他の考えをノートに整理し、比較・関連付けしたことを基に再考をすることで、自分の考えが深まり、その変容を自覚して自分事として振り返ることができた。

○ICT端末を活用した交流では、全員の考えを共有できた。さらに、教師が児童の考えをグルーピングすることで少数派の考えにも注目でき、多様な考えに触れることができた。

課題 ●意見交流の場面では、児童が自他の考えの違いや相手の立場に立った考え方を更に意識して、質問したり、考えを伝えたりできるように、教師のファシリテート力を高める必要がある。

終末